

日本、中国、西アフリカ、南米ペルーを巡る旅！

ザ・コネクションズ ～音楽で世界を旅しよう～

2024年1月6日(土) 午後3時開演(午後2時30分開場)

武蔵野市民文化会館 小ホール チケット発売中

料金(全席指定) | 一般：2000円 アルテ友の会：1800円
中学生以下：500円

*3歳以上有料。2歳以下膝上無料、ただし座席が必要な場合は有料。
*同日午後1時30分より開始のイベントあり！(要予約・無料)



出演 | ミロゴ・ペノフ(ジャンベほか)、井上姉妹(和太鼓ほか)、ワイキス(ケーナ、チャランゴほか)、さくら(中国琵琶ほか)

ブルキナファソ、ペルー、中国、日本の4カ国のアーティストによるコンサート！世界の管・弦・打楽器が勢ぞろいし、気分は世界一周旅行！国境を超え、人種を超え、言語を超えて、地球の裏側へひとつ飛び！



稲垣潤一 CONCERT2024

2024年1月27日(土) 午後5時30分開演(午後5時開場)

武蔵野市民文化会館 大ホール チケット発売中

料金(全席指定) | 一般：7000円 アルテ友の会：6300円

1982年「雨のリグレット」でデビュー。「ドラマティック・レイン」など数々のヒット曲を持ち、ドラムをたたきながら歌う斬新なスタイルで多くのファンを魅了し続ける、稲垣潤一のコンサート。

世界と武蔵野市を音楽でつなぐ

第9回 武蔵野市国際オルガンコンクール

9月6日(水)～20日(水)の2週間にわたり開催された第9回武蔵野市国際オルガンコンクール。コンクール前には15を超える多彩なイベントが開催され、多くの人々にぎわいました。

コロナ禍による延期を経て6年ぶりの開催となった今回は、16の国と地域から67名の応募があり、武蔵野市民文化会館での第1次予選、聖グレゴリオの家での第2次予選を経て、ファイナリスト5名が本選の舞台に立ち、演奏を披露しました。

〈審査結果〉

- 第1位 ニクラス・ヤーン (ドイツ)
- 第2位 東方理紗(日本)
- 第3位 演野芳純(日本)
- 第4位 ダニエル・ミニック (アメリカ/オーストラリア)
- 第5位 アレクサンダー・リトル(イギリス)

聴衆賞 東方理紗(日本)

*聴衆賞は観客の投票により決定されました。



武蔵野市民文化会館 〒180-0006 武蔵野市中町3-9-11

■チケットのお申し込み

TEL 0422-54-2011

*インターネットからも申し込みできます。
*電話・窓口予約の場合、アルテ友の会に同時入会可能です(年会費1000円)。インターネット予約では同時入会できません。

■チケット取り扱い窓口

武蔵野市民文化会館/武蔵野芸能劇場/武蔵野公会堂/武蔵野スイングホール/吉祥寺シアター



ホームページ



Twitter



Facebook

*出演者・内容はやむを得ず変更となることがあります。最新の公演情報については事業団のホームページをご覧ください。

*武蔵野市民文化会館、吉祥寺美術館、吉祥寺シアターなど、市内の文化施設は(公財)武蔵野文化生涯学習事業団が管理・運営しています。

出久根育展 チェコからの風 静寂のあと、光のあさ

2024年1月20日(土)～3月3日(日)

休館日：1月31日(水)、2月21日(水)・28日(水)

主催：武蔵野市立吉祥寺美術館(公財)武蔵野文化生涯学習事業団)

協力：ちひろ美術館、岩波書店、偕成社、Gakken、西村書店、のら書店、福音館書店、フレーベル館、ブロンズ新社、理論社

あたたかどこか残酷で生命の尊さを思わせる美しい“赤”と独特な世界観。絵本作家・出久根育(1969-)の表現の根底にあるのは、幼い頃の“数えきれないほどの絵本との出会い”。1994年に処女作『おふろ』*でデビューした出久根は、2003年、グリム童話『あめふらし』のイラストで、歴史あるブラチスラバ世界絵本原画展のグランプリを受賞。自身が恩師と慕う、ドゥシャン・カーライ(1948-)との出会いを経て、代表作『マーシャと白い鳥』では、中東欧の風土と伝統に根付いた美しさが画面に溢れ出し、2002年から移住したプラハでの生活が作品に別の命を吹き込んだことが分かります。

日本を離れて20年以上、「チェコのグリム」と評される、カレル・ヤロミール・エルベン(1811-1870)が収集した民話の挿絵を手掛けるなど、テンペラやガッシュを用いた作風で、日本人でありながらチェコでの評価も高い出久根ですが、いくつかの転機を経た現在、大地が春に目覚めるように“光のあさ”を迎えています。

2023年、出久根が新たに手掛ける作品は、“絵本とともに育った”幼い頃の自分自身を投影した物語。日本に育ち、チェコで暮らしたからこそ描ける、どちらの国でもない不思議な空気感をまとう世界。国内外のあまたの作家に望まれ、長年、絵本や読み物の挿絵を手掛けてきた出久根にとって、一人で絵も文も手掛ける“創作絵本”は、デビュー以来、約30年ぶり。本展では、自身をモデルに描いた『わたしのおにぎょうさん』をはじめ、今回が初公開となる、2024年に刊行予定の新作2作の原画も展示。中東欧の民話をはじめとする代表作はもちろん、初期の銅版画や、子どもたちに人気の「こうさぎ」シリーズなど、約200点の原画を通して、真摯に描き続けたこれまでの画業をたどるとともに、絵本作家・出久根育の現在の魅力に迫ります。

*初出「学研おはなし絵本」(1994年12月号)



『あめふらし』(作：グリム兄弟 パロル舎／2001年、偕成社再刊行／2013年)



『わたしのおにぎょうさん』(作：でくねいく 偕成社／2023年)



『こうさぎと4ほんのマフラー』(作：わたりむつこ のら書店／2013年)



武蔵野市立吉祥寺美術館

開館時間 午前10時～午後7時30分

休館日 毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始、展示替えおよび特別整理期間入館料 一般300円／中高生100円
(小学生以下・65歳以上・障害者は無料)

交通案内 JR・京王井の頭線「吉祥寺駅」下車 北口より徒歩3分



ホームページ



Twitter



Facebook

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16
コピス吉祥寺A館7階
TEL：0422-22-0385